



平成 29 年 9 月 20 日

各 位

上場会社名 レオン自動機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田代 康憲
 (コード：6272 東証第 1 部)
 問合せ先 執行役員管理統括部長兼
 経理部長 宮岡 正
 (TEL. 028-665-1111)

業績予想(連結・個別)及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 期間業績予想数値の修正

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,000	百万円 1,440	百万円 1,460	百万円 980	円 銭 36.60
今回修正予想(B)	14,010	2,080	2,110	1,390	51.91
増減額(B-A)	1,010	640	650	410	—
増減率(%)	7.8	44.4	44.5	41.8	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	12,989	1,880	1,915	1,257	46.97

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,200	百万円 880	百万円 1,040	百万円 730	円 銭 27.27
今回修正予想(B)	9,160	1,500	1,670	1,140	42.57
増減額(B-A)	960	620	630	410	—
増減率(%)	11.7	70.5	60.6	56.2	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	8,410	1,080	1,126	771	28.80

2. 平成30年3月期 通期業績予想数値の修正

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,000	百万円 2,810	百万円 2,800	百万円 1,900	円 銭 70.97
今回修正予想(B)	26,870	3,560	3,650	2,460	91.86
増減額(B-A)	870	750	850	560	—
増減率(%)	3.3	26.7	30.4	29.5	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	25,450	3,207	3,348	2,129	79.53

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,500	百万円 1,750	百万円 1,980	百万円 1,410	円 銭 52.66
今回修正予想(B)	17,400	2,630	2,880	2,010	75.06
増減額(B-A)	900	880	900	600	—
増減率(%)	5.5	50.3	45.5	42.6	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	16,018	1,882	2,109	1,344	50.21

3. 業績予想数値修正の理由

(1) 第2四半期(累計)期間業績予想

[連結]

売上高は、食品加工機械製造販売事業において、日本およびアジアの販売が好調で当初計画を上回る見込みであります。

営業利益は、売上原価率の低い食品加工機械製造販売事業の日本およびアジアの販売が好調で当初計画を上回る見込みであります。

以上により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も当初計画を上回る見込みであります。

[個別]

売上高は、国内およびアジア向けの販売が好調で、また、ドル・ユーロの為替レートが当初の想定レートより円安に推移したため、当初計画を上回る見込みであります。

営業利益は、売上原価率の低い国内およびアジア向けの販売が好調で当初計画を上回る見込みであります。

以上により、経常利益、四半期純利益も当初計画を上回る見込みであります。

(2) 通期業績予想

[連結]

下期の売上高は、ほぼ当初の計画通りを見込んでおります。

以上により、通期では、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を上回る見込みであります。

[個別]

下期の売上高は、ほぼ当初の計画通りを見込んでおります。

以上により、通期では、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が当初計画を上回る見込みであります。

なお、通期業績予想にあたっては、下期の為替レートを、1ドル=105円、1ユーロ=125円を前提としております。

4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成29年5月10日)	円 銭 11.00	円 銭 11.00	円 銭 22.00
今回修正予想	14.00	14.00	28.00
当期実績	—	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	10.00	14.00	24.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、利益配分の基本方針として、連結配当性向の目標を30%とし、継続的かつ安定的な配当を行うこととしております。

上記の業績予想の上方修正を踏まえ、第2四半期末、期末の配当をそれぞれ3円増配の第2四半期末14円、期末14円とし、年間配当28円に修正させていただきます。

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績及び配当等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上